

# 会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

|   |  |      |                       |
|---|--|------|-----------------------|
| 開催日   | 平成 22 年 5 月 19 日(水)  | 開催時刻 | 13 時 30 分から 15 時 30 分 |
| 会議名   | 上田中央地域協議会(平成 22 年度第 2 回)   |      |                       |
| 出席者   | 小林会長、宮本副会長、伊藤委員、河田委員、神林委員、久保田委員、栗内委員、佐藤浩委員、佐藤智恵子委員、塩入委員、松澤委員、宮坂委員、宮島委員、安井委員、山田委員、渡邊委員<br>(欠席委員)浅井委員、飯島委員、中村委員、村上委員<br>(事務局)足立まちづくり協働課地域振興政策幹<br>林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査 |      |                       |
| 会議次第  |  |      |                       |
| 1 開会(足立まちづくり協働課地域振興政策幹)   |  |      |                       |
| ・ 人事異動に伴いあいさつ<br>大沢上下水道局長(前政策企画局長) 宮川政策企画局長<br>小宮山まちづくり協働課長、足立まちづくり協働課地域振興政策幹   |  |      |                       |
| 2 会長あいさつ  |  |      |                       |
| 本日は大きく 2 つの議題がある。過去 2 期行われてきた中央地域協議会の経過については 1 回目に皆様方のお手元に資料としてお届けいただいているので、熟読いただいていることを前提に、第 3 期目に望んでいきたいと思う。この会は、上田市長からの委嘱の組織で、市長から頂く案件に対して審議をするのが第 1 だ。また、地域課題等について行政側も気づきにくい、地域として困っている問題については、率直に市長に対して意見を述べていく立場だ。対象地域に関わらず、住民自治の推進と、行政との協働により、この会議を進めてまいる所存だ。皆様方にもご協力をお願い申し上げたい。 |  |      |                       |
| 3 会議事項  |  |      |                       |
| (1) 第 3 期の協議の進め方について  |  |      |                       |
| 【主な質疑等】   |  |      |                       |
| 会長：中央地域協議会は、地域まちづくり方針として、第 1 期目に 7 つのテーマを設定している。「新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化」、という非常に大きなテーマ、「歴史的な資源を保全・活用したまちづくり」、これは第 2 期のメンバーで取り組み始め、過日行政へ提案をさせていただいている。「市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり」これについては、これからの課題ではない   |  |      |                       |

か。「自然環境の保全と共生によるまちづくり」これも一部の地域の自治連、あるいは連合会で活動は始まっているが、中央地域全体でどうなのか課題は残っている。「保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用」すでに広報でご存知のとおり、6月1日には健康プラザ保健センターが開設される。全市的な建物であるが、これについても実現できたと思う。「地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり」現在各自治会、あるいは各種団体から、わがまち魅力アップ応援事業に続々と名乗りを上げていただいている。こういった投げかけが、具体的な形に表れ始めているのも事実だ。「産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興」大変難しいテーマを設けているが、これからの課題だ。まちづくり方針の7項目の中からピックアップをするか。あるいは、当時とは世相全体も様変わりしている状況であるので、違う議題を検討するか。今回第3期目からご参加を頂いた方々に、審議する議題についてお話を頂きたい。

委員：歴史的資産の活用は、我々の地域に必要な。大屋から海野宿の間にある神川地域の古戦場もクローズアップしていきたい。特に上田地区の観光の面については、全市的に上手く周遊し、観光していただけるようにしたい。

委員：地域資源を活用し、各地域で独自事業が出来るといいと思う。

委員：生ゴミの資源化について、中央地域が関わり、その結果現在どのようになっているのか。今後どのように進めていくのかも考えたい。

会長：1期・2期で市長宛に提言したが、具体的に実現したものは、まだ見えていない。しかし、実際には資金のかかる話で、すぐには進まないのも事実だ。

委員：市内には、スポーツで全国的に有名な菅平高原等があるが、中央地域もいい意味での利用が出来ないものか。情報発信等も考えたい。

委員：中心市街地活性化の面に目がいく。アリオ建設に伴い、回遊性のあるまちづくりとはどのようなものかをお聞きしたい。中心市街地活性化基本計画が認定され、まちづくり会社が設立され、一富士の跡地問題や、店舗の問題などご意見をお聞きしたい。

委員：神川地区は海野氏のお墓がある。海野氏を研究・検証したい。それを生かしていく。

委員：ふるさと上田先人館について、第1期の提言に対する回答では、旧上田市図書館の後利用のあり方等も踏まえ、研究を進めてまいりたいというお話があったと思う。この場所は、上田の先人の方たちの検証をして、展示するにはいい建物と思う。

会長：第1期目のふるさと上田先人館の建設について、どうなっているのかは同様の質問を出している。いずれ回答が出てくると思う。

皆さんのお話では、地域の歴史や史跡の保存・活用、J T跡地の商業施設と上田市が建設する文化振興施設の話が出ている。中心市街地の問題は、スケールの大きな話でどこまで我々の力の及ぶものなのか、前期も考えあぐねている。この中から、

いくつかに絞りこんで、任期内に方向付けと、行政に対する提言・提案を出して、回答をもらう方向にまとめていかななくてはならない。

委員：前期は生ゴミの堆肥化について市長に提言し、プラスの方向で受け取っていただいたと思う。この提言に対して、市民も交えて協議会を作っていたきたいことも伝えているので、経過を随時追っていきたいと思う。

会長：事務局には責任を持った回答を寄せて欲しいとお願いしている。市としてどう受け止めたか、いつ頃どうしたいのかについて、後ほど答えが出ると思う。

「独自審議事項抽出一覧」や、皆さんからの意見を踏まえて、次回はテーマを絞っていきたいと思う。どのような方向で取り組んでいくのか、決めていただきたい。

## (2) その他

### 4 連絡事項等

次回会議の開催と今後の日程について (事務局より)

次回会議開催について

平成 22 年 6 月 24 日 (木) 開催予定

閉 会